



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第364号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

ラオスの殉教者 マヘル神父

昨年12月11日、ラオスの首都ビエンチャンで5人のパリ外国宣教会の神父と6人のオブレート会の神父、1名のラオス人神父、5名のラオス人カテキスト、計17名の列福式が教皇様の代理のフィリピンのオーランド・ケバド枢機卿の司式で執り行われました。上記17名の殉教は1953年から1974年まで続いたラオスの3派に分裂した勢力間の長い内戦の混乱と激動期に、現政権の母体となった左派共産主義勢力、パテト・ラオ一味によって1954年から1970年の間に起こった惨劇です。11名の外国人神父は2つの修道会から、1名のイタリア人を除き他は全員フランスから、苛酷な混乱の地にキリストの証人となるため、そして人々に福音の平和を伝えるためにやって来て、英雄的に、危険を冒して現地に留まり、ある者は外国人である故の解放を拒み、行動を共にしていたラオス人相棒に寄り添って殺害され、ある者は車で移動中に襲撃されて、手投げ弾でこっぴみじんに粉砕されました。

それから凡そ半世紀が経って行われた列福式には民族服を身に纏ったラオスの政府役人も列席しました。

ラオスは人口凡そ7百万人で、内カトリック教徒は約6万人でしかない日本と同じように、小さなキリスト教の国ですが、二つ

の修道会からの尊い殉教者の流された血は人々にキリストを証して行く糧、活力となって行くでしょう。同じく日本もかつておびたらしい数の殉教者の血が流された地です。そして水巻教会はじめ北九州の幾つかの教会はパリ外国宣教会によって創立され司牧されて来ました。そして隣の古賀教会や吉塚教会はオブレート会です。水巻教会にはかつてオブレート会からハーン神父様が、そして今は私が派遣されています。

今、日本では殉教の危険を感じる事はないでしょう。しかし、教会に敵対する悪魔の試みは殉教と異質なものでしょうか？発展した国には発展した文化がもたらす様々な困難と誘惑があります。私達にはそれらを見極め対決する知恵と勇気が求められています。困難を乗り越えて、キリストの光に照らされて、キリストを証するために、そしてキリストの平和を実現するために全員一致して主の御旨を生きて行きたいと願っています。

平和の集い・抱撲	2・3面
小教区委員会	4・5面
平和の集い・ヨゼフ園	5面
ボランティア活動の心・幼稚園より	6面
敬老お祝い会・写真	7面
お知らせ・短歌	8面

平和の集い 活動紹介、抱撲（ホームレス支援）、森松牧師

バプテスト東八幡教会牧師である、抱撲（旧 北九州ホームレス支援機構）の森松です。私達の活動は、皆様の支援があって続けてこられました。カトリック、プロテスタント、韓国の教会にお弁当を作ってもらっています。これから同活動の紹介をします。

30年近く、2900人のホームレスの方々の自立支援を実施してきました。通常、ホームレスになる事は、家と職を失い、無一文になって、住むところも失い、野宿になっていくと言われる。

しかし、実は家を失っても、職を失っても、無一文になっても、それだけでは野宿にはならない。なぜか。それは助けてくれる人がいるから。知り合いがいる。うちに来いよ、と言う友人がいる。親が助ける。ものを失うだけなら野宿にはならない。ものを失うだけなら、ハウスレスという。ハウスという物理的なものを失うだけでは、野宿にならない。

じゃあ、なぜ、ホームレスになるか？要点はホームを失うということ。ホームは家庭・人と人とのつながり。ハウスを失って野宿になるのではなく、ホームを失って、さらにハウスを失うと、野宿になる。

私達はこの活動をしていて、まず一生懸命ハウスレス支援をしていました。それも大事だった。しかし経済支援、家の支援、ものを準備するだけでは解決にならなかった。現在は、ハウスレス支援とホームレス支援。つまり家の支援と、人間の生活の回復支援。両方を活動の中心にしている。

野宿になっていく人では、孤立と困窮の2つが重なった方々が多い。子供のころから家族と断絶し、孤立したままで大人になる。失業をきっかけに、病気をきっかけに、家族と断絶する。様々な社会的な要因で、困窮と孤立が重なる。

そうなるとどうなるか？3つの道がある。自死、犯罪、ホームレス。すべてを失い、食べることもできなくなり命を絶つ。生活できない。しょうがない万引きをする、食べものを盗む。どちらもできないと野宿に。

困窮・孤立という2つの状態をどうするか、自死、犯罪、野宿。それに至る前に支援を実施することで、防止策を次のように行ってきた。その最初が炊き出しをし、食事を提供。それから仕事の紹介をする。住むところを確保する。病気のと看病院を紹介する。障害があれば、社会制度を利用。戸籍がない人戸籍に与える。保証人を提供する。仕事がうまくなくて、もうやめようという人の相談をする。仕事を止めたら再就職。一つ一つ、職員を配置する。

さらに子供の支援を実施している。子供の貧困の問題、大人のホームレスに経歴を聴くと、ほとんど幼少期に家族関係が希薄。貧困は、世代間連鎖する。

親が貧困で、中学卒業で働くとなると、しっかりした会社に就職できない。日雇い労働か、非正規。小さな会社でいつ景気が悪くて、潰れるかわからない。

幼少期に貧困の問題をどう解決するか？子供のころからルートをつなげていく。現在、子供の貧困の問題が大きな問題。そして子供の貧困は、世帯の貧困。

場所を作り、学習支援から始まって、実は世帯支援、家庭に入って、親と共に世帯に伝える貧困対策を実施している。

残念ながら、炊き出しと子供の支援は、どこからも公的な支援はない。寄付から実施している。3人の人を配置している。そうして自死、犯罪、ホームレスに至らないよう、また大人たちへの支援と子供達への支援を実施している。

最後に子供の実例を挙げさせてください。中学3年生の女子、2年半以上学校に来ていない。その子供に接すべく、どうにかうまく家庭の中に入った。お母さんは覚醒罪を3回目の使用。その子は、おばあさんに引き取られた。しかし、おばあさんも体調の点で、入院しないといけなところだった。

その子供一人が児童施設に入る方向に進んだ。家庭がバラバラになりそうになった。私達は、まずおばあさんの入院の手筈をして、子供の行き場所は通常の児童施設でなく、私たちが用意した施設に入れ、職員が毎日一緒に面倒を見た。お母さんが、刑務所から出るのを待ち続けた。荊労者支援もしているので、お母さんとコンタクトが取れた。学習支援、おばあさんの生活支援もした。

そのお母さんが出所。半年後での覚せい剤の再犯率は98%なのに、その後1年半、きっぱりと断ち切れた。女の子は引きこもりから脱出して、高校卒業の認定の試験に合格。その子供がいきいきと生活できる、

覚せい剤の刑務所から出て半年くらいして、お母さんが弁当を作った。娘が喜んで「見て、これお母さん作ったのよ」と見せた。食べるのを見て、我々の職員がポロポロになって泣き、良かったね、と語った。さまざまな活動を続けていかなければならない。今後とも、助けてください。どうぞ、よろしくお願いします。 (広報委員 三谷尚)



委員会等報告

2017年9月分

9月度小教区委員会 9月3日

1. 行事予定

- ・10月1日(日)小教区委員会
- ・10月9日(月)北九州信徒協 くりエーション大会(新田原)
- ・10月15日(日)結婚式 12:00～
- ・10月21日(土)役員会
- ・10月28日(土)水巻聖母幼稚園 バザー
- ・10月29日(日)ワックスがけ

2. 議事

(1) マリア子どもの家(保育園) 建設計画

- ・正式に認可が得られれば10月から建設が始まります。完成は来年の1月31日を予定しています。保育園で受け入れ、幼稚園卒業まで1歳から6歳までの連続したモンテッソーリ教育の実現を目指しています。
 - ・建設完了後は北側駐車場の半分程度が使えなくなります。建設工事中は資材置き場も必要なので、さらに駐車台数が制限される可能性があります。
 - ・代替駐車場として日曜日は幼稚園園庭に車を止めることとします。幼稚園の了解も得ています。それでも駐車場は不足します。建設が決定すれば、町役場駐車場の利用や歩道への駐車許可等、町と相談していく予定です。
- 不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

(2) 北九州信徒協主催 くりエーション大会

10月9日(月) 新田原グラウンドにて開催されます。時間は9:30～15:00とな

っています。車に分乗して、8:00に水巻教会を出発します。幼児向けのかけっこ、小学～高校生向けのグリーンソフトやドッチビー、大人向けのグランドゴルフと年代問わず楽しめる企画満載です。北九州の教会が1つに集う貴重な機会です。ぜひ参加ください。

(3) 大人の日曜学校

・10月22日ミサ後、11:50～12:00の予定で行います。

・テーマは「いつくしみから踏み出す第一歩。自分にもできる福音の実践」です。

・福岡教区の活動方針「青少年への信仰伝達と教会を離れている方々への配慮」に則り、自分にもできる身近な実践について考え、みんなでわかちあいましょう。

(4) 水巻聖母幼稚園 バザー協力

10月28日(土)に聖母幼稚園のバザーが開催されます。教会と幼稚園の協働の1つとして水巻教会も出店しようと考えています。綿菓子やめだかすくいといったアイデアが出ています。詳細はこれから幼稚園と相談していきませんが、お手伝いをお願いします。参加だけでも大歓迎です。

(5) その他

・九州北部豪雨災害支援募金 69,530円集まりました。ご協力ありがとうございました。全額、朝倉のボランティア支援先に送ります。

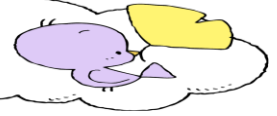
・敬老のお祝い会

水巻教会で75歳以上の方は108名おら

れます。うち33名の方が敬老会に出席しました。小笠原さんにハーモニカ演奏を披露いただき、感動的な演奏に大きな拍手が沸き起

こりました。その後、お弁当を頂きながら楽しいひと時を過ごすことができました。来年も元気な顔で集うことができますように。

平和の集い、活動紹介、児童養護施設 聖ヨゼフ寮



サレジオ修道会の村松神父です。児童養護施設、ヨゼフの家で働いています。

現代の社会問題の1つが子供の貧困問題。6人の1人が貧困に達している。これは家がなく食べるものがない(絶対的な貧困)のではなく、学校で給食費が払えない、教材費が払えない、そういう状況です。

深刻なのは母子家庭。母は働いているが低賃金で十分な収入がない。さらにその8割は、別れた父親からの経済支援がない。また貧困が親から子へ伝わる貧困の連鎖があり、生活保護を受ける母子家庭では、母も自分も貧困家庭で育ち、母親の66%が中卒や高卒。

これら貧困家庭の中から、子供達が児童養護施設に入る。児童養護施設は日本に約600ヶ所。生活する子供達は約3万人。施設に子供が入ってくる理由は、1971年には親の離婚、親の不和、行方不明が一位だったが、現在虐待で親と生活できないことが一位となっている。

こうして虐待を受けた子供達は、精神状態に明確な影響を受けている。これが子供の貧困と言える。特に、親の愛情の貧困。親元を離れての生活。本来、親の愛情があるはずなのに受けられない。これらの子供達は愛情を求めて、初対面の人がちょこっと顔を出しただけなのに、抱き着いて来る。だれかれ構わず、「だっこ！」と迫る(愛着障害)。

通常ならば、子供は親に愛されて、安心感・信頼感を持っている。赤ちゃんがワーと泣けば、すると、お母さん、お父さんがそばに居て、対応してくれて安心できる。「守られて、大切にされている」と赤ちゃんでもそれを感じられる。

でも、ワーと泣いても誰も構ってくれない。おむつを替えてくれない。おなかがすいても対応してくれない。これに気づき、危機感を感じる。こうして親から愛しているよ、大事にしているよ、とのメッセージを受けない子どもは、(精神の安定した)状態が作られない。

人間(安心を持つためには)、誰か、特定の人と、血の通った関係が望ましい。その人から愛してもらって、ああ自分はこの人が居たら安心できるとそういう思う人が欲しい。そういう人がいると、子供達は、自分の心を開いていることができる。自分は大切にされている、愛されている、そういう実感があると少しずつ前むきに、色んな問題が解決され、力を出すことができる。

講話の後半部では、この施設に集う子供達が、心温まる側面も多いに持っていることを示してくれる施設での生活の画像、映像が見せられました。(広報委員 三谷尚)

「ボランティア活動の心」 川島 晋二

熊本地震から一年が経とうとしています。多くの信徒の皆さんに助けられてこれまでに1度、ボランティアに参加することが出来ました。

現在は、豪雨災害のあった朝倉へも参加していますが、信徒の皆さんからお預かりした寄付金や物資を届けることで大変喜んでもらっています。

地震の後「教会として出来ることは何か」を考え、宣教委員会でボランティアへの参加を決めました。息の長い支援を続ける事を委員会で決め、自分達に協力できることは何かを考えつつ、毎回4~5名が参加して活動しています。

イエス様は、困っている人や弱い立場の人たちに力を注がれた事が、聖書の中に沢山出てきます。様々な問題もありますが、私達信徒として出来ることは、まだまだ沢山あります。無関心にならないで、関心を持つことで、互いに愛し合い助け合うことを、イエス様は私たちに教えて下さいました。

もう少し熊本と朝倉を応援して行きたいと思いますので、ボランティアへ参加されたことのない方も、是非勇気を持って一歩前に進んで頂ければと思います。

信徒の皆さんの中にも、ボランティアを必要とされている方がおられるかもしれませんが、その時は是非宣教委員会に声を掛けてみて下さい。

「無関心は大きな罪です」。マザー・テレサのことばを合言葉にして、これからも頑張っていきましょう。



水巻聖母幼稚園から10月のお知らせ

10月はたくさんの行事があります。幼稚園バザーは教会の皆様も、ご一緒に参加して心を合わせてくださること本当に感謝しています。ぜひ、皆様お誘いあわせの上、水巻聖母幼稚園にいらしてください。

☆「入園説明会」10月2日(月) 10時30分~

幼稚園ホール

☆「大運動会」10月7日(土) 8時30分~12時15分

幼稚園園庭

※雨天の場合は、10月9日(月)に順延。

☆「聖母バザー」

10月28日(土)10時30分~

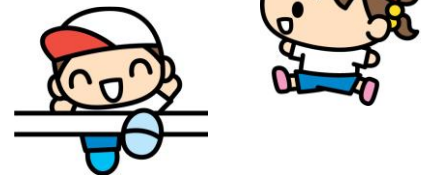
☆「みんななかよく」(七五三)

11月9日(木)10時30分~

水巻教会聖堂

職員一同 皆様のご来園をお待ちしています。

園長 Sr.松川明子 職員一同



敬老お祝い会 9月10日(日) 水巻教会敬老会が開催され、招待された人生の先輩方が交歓し、今年は、余興に、小笠原さんのハーモニカが演奏されました。



【ミサ中、病者の塗油の秘蹟をいただく】



★10月はロザリオの月★

10月はロザリオの月です。ミサの前、午前9時からロザリオを一連、唱えます。

皆さんの参加をお願いします。

★大人の日曜学校★

日 時：10月22日(日) ミサ後

場 所：水巻教会

水巻教会にある小グループの紹介などを行う予定です。

★教会聖堂のワックス掛け★

日 時：10月29日(日) ミサ後

作業しやすい服装でおいでください。

★九州北部豪雨災害募金★

69,530円

ご協力、ありがとうございました

★北九州信徒教レクリエーション大会★

日 時：10月9日(月) 体育の日
9時30分～15時

場 所：新田原グランド

出 発：8時(マイカー分乗で行きます)

どうぞたくさんの方の参加をお待ちしています。特に子ども達の参加が増えてほしいと思います。たくさん子ども達を含む、多くの信徒の皆様の参加をお待ちしています。

参加される方は聖堂後ろの用紙に名前をご記入ください。

★教会学校のページ★

今月は、教会学校のページをお休みします。来月を掲載しますので、楽しみにしてください。

折尾地区 西山寿美枝さんの短歌

路の臺を味噌でいためしお土産に

心のこりで味を分け合う

野佛の野道を行けば白き蝶

低く舞いおり祈りのごとく

小さきは小さきままに地を這いて

あまた咲かせる紫の花

何事も片目に合わせ物を見る

夏ふたたびの命あるごと

ジャンケンで散りし少女等かくれ場を

それぞれに持つ一瞬に消ゆ

朝が来て藍に定まる花びらに

優しきのみふるる指先

ホームレス國と企業にすてられて

いざよいの夜を月と臥しあり

病む悩み天に召されてなくなれば

楽園に入り魂のいこわん